

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和6年度第6号(通巻93号) 12月23日発行

今回は小学部一般学級のキャリア教育の取組についてご紹介いたします。

【シリーズ】キャリア教育 「小学部一般学級の取組」

はたらく生活に向けて必要な力は、日々の暮らしの中で培われるものが多くの、幼少期からよりよい体験と成功体験の積み重ねが重要です。そこで、小学部段階では次に挙げる4つの視点を踏まえたキャリア教育を実践しています。

- ① くらしの中で毎日行う、身の回りのことに自分で取り組むこと。
(食事・着替え・排泄・入浴・整容・清潔など)
- ② あいさつ・返事などの対人関係の基礎を身に付けること。
- ③ 自分でできることを増やすこと。
- ④ やる気をもって意欲的に活動すること。

今号では、この4つの視点に沿った各学年の学習をご紹介いたします。

1年生 「おそうじ名人になろう！」

生活科の授業で、雑巾がけについて学習しました。友達にぶつからないようにすること、雑巾はしっかりとしぼってから使うようにすること等、簡単なきまりを守りながら掃除をしました。回数を重ねると雑巾がけのコツをつかみ、どんどん上手になっていきました。将来、働くにあたって必要な基礎的能力も身に付けることができました。



2年生 「買い物学習 前期のお疲れさま会をしよう！」

生活科の授業で、買い物の仕方について学習しました。事前に学校で選んだ物をカゴに入れたり、支払いの仕方を学習したりした後、「ドラッグストア コスモス」へ行きました。実際に自分で選んだお菓子とジュースをカゴに入れてレジまで行き、お金を支払うことができました。働いている人の様子を見ることもでき、とても貴重な機会となりました。



☆進路に関する、疑問・質問は右のQRコードから、
どしどしお寄せください



3年生 「しごとてなに？」

校外学習で「トヨタカローラ熊本荒尾店」に行きました。はじめに、働くうえで大事なことについての話を聞いたり、自分たちで考えた質問をしたりしました。その後、整備士のユニフォームに着替えて、仕事体験を行いました。タイヤのボルトを工具を使って着脱したり、車の下へ入り修理箇所に見立てたバイキンマンを探したりしました。実際に作業体験を行い、整備士の仕事について知ることができます。



4年生 「あらおのまちへイッテ Q！卒業生の姿を見に行こう」

生活単元学習の一環で、荒尾市の「まちパン Lab 荒尾店(就労支援センターワンピース)」に行き、パン製造の様子を見学したり、卒業生にインタビューをしたりしました。「仕事で楽しいことは？」「今、頑張っていた方がいいことは？」等を尋ね、真剣に聞く姿が見られました。インタビュー後には好きなパンを購入し、買い物学習もできました。働くことについて考える機会となりました。



5年生 「ぼくとわたしの宿泊学習～見たい・知りたい・作りたい～」

宿泊学習に向けて、「買い物・調理・清潔・整理整頓・公共交通機関や施設の利用」等の学習を行いました。買い物学習では、商品選びや支払いの仕方を学んで実践し、買った材料を使って役割を分担しながら調理活動に取り組みました。その他にも、布団の置き方やバスの乗り方、施設利用のマナーなど事前学習で学んだことを、実際の場で実践することができました。



6年生 「しゅうがくりょこう～くまもと・あそたび～」

修学旅行では、熊本や阿蘇の動植物園、ホテル、元気の森等の施設を訪れました。事前学習として身辺処理、基本的生活習慣である顔・体洗い、布団敷き・畳みなどに取り組みました。自分のことは自分でする、自分でできることを学校や家庭以外の場所で挑戦することができました。今回たくさんの施設を訪れ、それぞれの場所でマナーを確認する良い機会ともなりました。



＜編集後記＞小学部では、「将来のことはまだ先のこと」と思いがちです。しかし、毎日一步ずつ進んでいます。卒業生や保護者の方々から、「もっと早くから取り組んでおけばよかった」「積み重ねが大事」との話をよく聞きます。小学部では、これからも児童の実態に応じて「今できること」「身に付けてほしい力」を活動に取り入れていきたいと思います。(境)